

佐原の町並み かわらぬ版

第12号
平成9年9月
・小野川と佐原の町並みを考える会
・町並み保存会

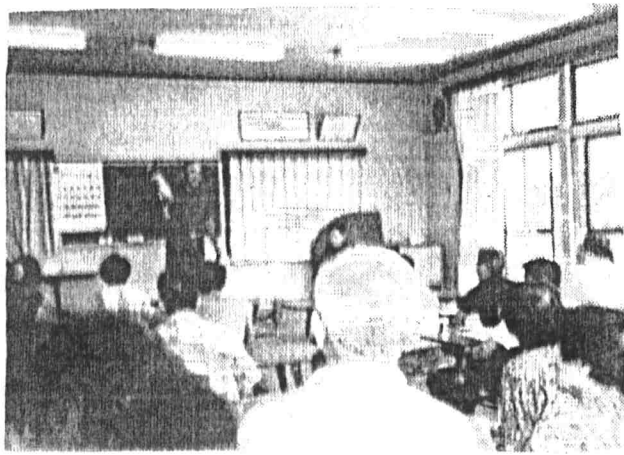
住民の協力で築く 火災のないまち

かつて、佐原も何度か大火に見舞われました。貴重な歴史的文化的文化財であるこの地域を守るため、八月十日、本宿コミュニティで消火訓練を実施しました。

佐原消防署員を 講師に迎えて

○火事になった時
番通報！

火災現場の場所（町名・目標物・家の名前等）と状況を知らせ、通報した人の名前・住所・電話番号を報告します。



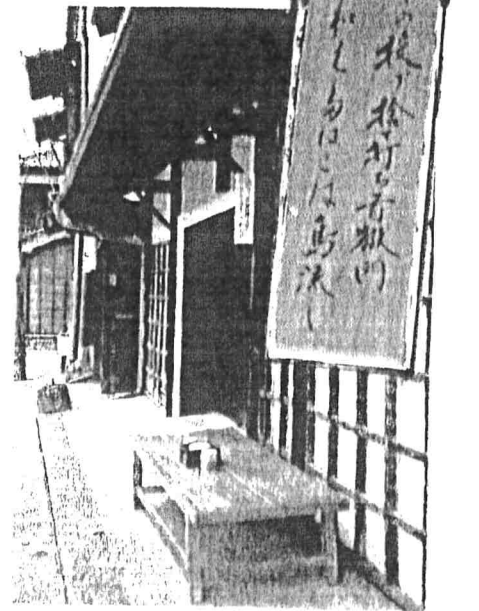
熱心に講話を聞く参加者

○初期消火の際、油や電気類の火災には、水は逆効果であり、消火器の方が有効です。
○消火器購入は、国家検定シールが貼ってあるもの。
○消火器で消火する際には、「火事だ！」と近所に知らせるほど、大声を出しながら炎の手前から箒で掃くよう近づき、火の元にかける。
○訓練参加者は、番通報と消火の実演を体験しました。木造建築の多い私達の町では、防火対策・初期消火が大切。機会を見て再度、実施したいと考えます。
（考える会保存委員長 佐藤）



ユニークな防火短冊

「たばこの投げ捨て打ち首獄門、くわえたばこは島流し」この短冊が忠敬旧宅通りに粋な縁台とともに目が付く。「吸うならここで……」とそつと煙草盆が置いてある。大高敏男さんの発案が、防火対策を呼かけています。



消火器を使った実地訓練

実習訓練に参加して

頭で理解していても、戸惑いがあったが、実際に体験することで不安が解消されました。しかし、消火するのでは遅く、火を出さない防火に努める心がけを改めて認識しました。
（柏崎京子）

小野川沿いに 車を駐車しないで！

小野川沿いは車の駐車が多く「安心して散策出来ない。」
恐しいのは、「緊急事態の発生時に、消防車や救急車の通行の妨げとなっている。」
住民の皆さんのご協力をお願いします。

火の用心 7つのポイント

- 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない。
- 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 風の強いときは、たき火をしない。
- 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

ステッカーを作成



目のつく場所に貼って

防火に心がけましょう！